

**製品名: アンジオテンシン変換酵素 1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87011**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.15mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:500-1:2000
分子量	Calculated MW:150 kDa; Observed MW:180 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Angiotensin Converting Enzyme 1
別名	DCP; ACE1; DCP1; CD143
遺伝子 ID	1636
SwissProt ID	P12821
免疫原	ヒトアンジオテンシン変換酵素 1 の組換えタンパク質

**背景**

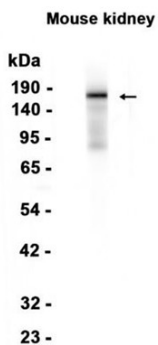
この遺伝子は、アンジオテンシン I を生理活性ペプチドであるアンジオテンシン II に変換する触媒に関与する酵素をコードしています

す。アンジオテンシン II は強力な血管収縮薬であり、血圧と体液電解質バランスを制御するアルドステロン刺激ペプチドです。この酵素はレニン-アンジオテンシン系において重要な役割を果たしています。多くの研究において、この遺伝子中の 287bp の Alu 反復配列の有無が、循環血中の酵素レベルや心血管病態生理と関連付けられています。異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが同定されており、最も多く存在する 2 つのスプライシングバリエーションは、それぞれ体細胞型と精巣型をコードしており、これらは同等の活性を有しています。[RefSeq 提供、2010 年 5 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



アンジオテンシン変換酵素 1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、マウス腎臓組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。